別記様式第１号

養殖業者個票

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号※ |  | 漁業者名 |  |

※計画書の取組番号を記載してください

|  |  |
| --- | --- |
| 取組内容 | 備考 |
| 対象魚種 | 取組事項 | 課題・目的 |
|  |  |  |  |

１．漁家経営状況

（１）環境変動による影響を受ける前の　　　年～　　　年漁期の主たる収入源は　　　養殖業で　　　千円でしたが、直近漁期の漁業収入は　 千円です。

（２）操業状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 漁業の種類 | 環境変動前の状況(　　　年漁期） | 直近漁期の状況 | 事業実施後の計画(実績) |
| 操業時期 | 漁業収入 | 操業時期 | 漁業収入 | 操業時期 | 漁業収入 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  |

※環境変動前の状況は、原則R1からR3年漁期の状況を記載してください。

※養殖業も含め、環境変動前及び現在（直近１年間）に営んだ漁業全てを記載してください。

※収入は確定申告書や市場水揚実績などを元に記載してください。

２．設備・機器名及び規格・能力、設置場所

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設備・機器名 | 規格・能力 | 設置場所（漁業権番号、漁船名） |
|  |  |  |

３．事業完了（予定）日

上記の記載内容に相違ありません。

令和　年　　月　　日

漁業協同組合　代表者名　印

別記様式第１号

記載例

養殖業者個票

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号※ |  | 漁業者名 | 唐桑　太郎 |

※計画書の取組番号を記載してください

|  |  |
| --- | --- |
| 取組内容 | 備考 |
| 対象魚種 | 取組事項 | 課題・目的 |
| ホヤ、ホタテ | 深吊り | 〇高水温により養殖業種に斃死が発生したことから、深吊りを実践する。 | 区1103号 |
| タコ | 漁船漁業への着業 | 〇高水温によりホヤ養殖が影響を受けていることから、漁家収入安定化のため、漁船漁業に試験着業する。 | 共201内 |

１．漁家経営状況

（１）環境変動による影響を受ける前の令和１～３年漁期の主たる収入源はホヤ養殖業で15,000千円でしたが、直近漁期の漁業収入は6,500千円です。

（２）操業状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 漁業の種類 | 環境変動前の状況(R1～R3年漁期） | 直近漁期の状況 | 事業実施後の計画(実績) |
| 操業時期 | 漁業収入 | 操業時期 | 漁業収入 | 操業時期 | 漁業収入 |
| ホヤ養殖 | ４～７月 | 10,000 | ４～７月 | 3,000 | ４～７月 | 5,000 |
| ホタテ養殖 | ４～８月 | 5,000 | ４～８月 | 2,000 | ４～８月 | 3,000 |
| タコ籠漁業 | ９～６月 | 0 | ９～６月 | 1,500 | ９～６月 | 4,000 |
|  | 合計 | 15,000 | 合計 | 6,500 | 合計 | 12,000 |

※環境変動前の状況は、原則R1からR3年漁期の状況を記載してください。

※養殖業も含め、環境変動前及び現在（直近１年間）に営んだ漁業全てを記載してください。

※収入は確定申告書や市場水揚実績などを元に記載してください。

２．設備・機器名及び規格・能力、設置場所

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設備・機器名 | 規格・能力 | 設置場所（漁業権番号、漁船名） |
| φ１４ｍｍ　スタウトロープ | ２束 | 区1103号 |
| タコ籠 | 200籠分 | MG3-00000唐桑丸　共201内 |

３．事業完了（予定）日

　令和７年２月１日

上記の記載内容に相違ありません。

令和６年11月11日

宮城県漁業協同組合　唐桑支所　支所長　○○○○　　印

　（別記様式第２号）

年度宮城県養殖業環境変動対策事業費補助金に係る実施状況報告書

　　　　　　　番　　　　　　　　号

　　年　　月　　日

　宮城県知事　　　　　　　殿

申請者

住所又は所在地

氏名又は名称及び代表者名

（支所名：　　　　　　　　　　　　　　）

令和○年度に実施した宮城県養殖業環境変動対策事業について、下記のとおり報告します。

記

１　事業実績

（１）養殖生産高度化支援事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 取組の概要 | 事業前の状況(収入、生産量等) | 取組後の状況(収入、生産量等) | 番号 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（２）養殖技術等習得支援事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 不漁対象 | 取組内容 | 実施規模 | 事業後の成果 | 備考 |
| カキ | カキ、アコヤガイの視察を実施 | △支所　□部会○名で実施　等 | ×名が技術導入に至った。 |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

２　取組状況報告

個別の取組状況については、別添「取組状況報告書」のとおり。

別添１

取組状況報告書

（１）養殖生産高度化支援事業

1. 取組内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 |  | 漁業者名 |  |
| 取組内容 |  |

ロ）漁業の状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組内容 | 補助事業年度（　　年度） | 補助事業年度の翌年度（　　年度） | ２年後（　　年度） | ３年後（単位：千円）（　　年度） |
| 生産時期 | 漁業収入 | 操業時期 | 漁業収入 | 操業時期 | 漁業収入 | 操業時期 | 漁業収入 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  |

ハ）導入した設備・機器等の管理運営状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備・機器名 | 補助事業年度（　　年度） | 補助事業年度の翌年度（　　年度） | ２年後（　　年度） | ３年後（　　年度） |
| 稼働日数 | 備考 | 稼働日数 | 備考 | 稼働日数 | 備考 | 稼働日数 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

取組状況報告書

記載例

（１）養殖生産高度化支援事業

イ）取組内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 |  | 漁業者名 |  |
| 取組内容 | 高水温によりホヤの斃死が発生したことから、深吊りを実施し斃死対策に取り組んだ。ギンザケ種苗に斃死が発生したことから、酸素供給機の導入により斃死対策に取り組んだ。ノリの生産時期にズレが生じたことから、冷水機により対策を行った。深刻な生産不調の影響を緩和するため、タコ籠漁に着業することで、漁家経営の安定化を図った。 |

ロ）漁業の状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 漁業の種類 | 補助事業年度（R6年度） | 補助事業年度の翌年度（R7年度） | ２年後（R8年度） | ３年後（単位：千円）（R9年度） |
| 操業時期 | 漁業収入 | 操業時期 | 漁業収入 | 操業時期 | 漁業収入 | 操業時期 | 漁業収入 |
| ホヤの深吊り | ５～７月 | 5,000千円 |  |  |  |  |  |  |
| ギンザケ種苗の越夏 | ７～８月 | 500千円 |  |  |  |  |  |  |
| ノリ陸採時の冷水機導入 | ９～４月 | 120,000千円 |  |  |  |  |  |  |
| タコ籠漁への着業 | 11～12月 | 2,000千円 |  |  |  |  |  |  |
|  | 合計 | 127,500千円 | 合計 |  | 合計 |  | 合計 |  |

ハ）導入した設備・機器等の管理運営状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備・機器名 | 補助事業年度（R6年度） | 補助事業年度の翌年度（R7年度） | ２年後（R8年度） | ３年後（R9年度） |
| 稼働日数 | 備考 | 稼働日数 | 備考 | 稼働日数 | 備考 | 稼働日数 | 備考 |
| 酸素ファイター | 60日 | ７～８月 | 60日 | ７～８月 | 60日 | ７～８月 | 60日 | ７～８月 |
| 冷水機 | 30日 | ９月 | 30日 | ９月 | 30日 | ９月 | 30日 | ９月 |
| タコ籠 | 60日 | 11～12月 | 60日 | 11～12月 | 60日 | 11～12月 | 60日 | 11～12月 |

別添２

取組状況報告書

（２）養殖技術等習得支援事業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組番号 | 補助事業年度（　　年度） | 補助事業年度の翌年度（　　年度） |
| 記載例 | 取組内容 | ・環境変動に対応したカキ養殖技術の習得及び新規養殖種検討のため、本県より南方の生産県である三重県の養殖業態を視察した。 | ・補助金を活用してバスケットを整備 |
| 成果 | ・カキのバスケット養殖技術、アコヤガイの挿核技術について学んだ。 | ・水揚量　○○トン、生産金額　○○千円 |
|  | 取組内容 |  |  |
| 成果 |  |  |
|  | 取組内容 |  |  |
| 成果 |  |  |